

科目区分	専門基礎分野	授業科目	微生物学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30 時間)	開講年次	1年次
目的: 微生物の特徴、および主な病原微生物を理解し、感染とその防御について理解する。 目標: 1 微生物の種類と性質を理解できる。 2 感染の成立とその防御について理解できる。 3 おもな病原微生物の特徴を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 微生物の基礎	6	1 微生物と微生物学 1) 微生物の性質 2) 微生物と人間 (1) 生態系における微生物 (2) 微生物と人間の生活 2 微生物の種類とその性質 1) 細菌 (1) 細菌の形態と特徴 (2) 培養環境と栄養 (3) 細菌の遺伝 (4) 細菌の分類 (5) 常在細菌叢 2) 真菌 (1) 真菌の形態と特徴 (2) 真菌の増殖 (3) 真菌の分類 3) 原虫 (1) 原虫の特徴と基本構造 (2) 病原原虫の種類 (3) 原虫の感染 4) ウイルス (1) ウイルスの特徴 (2) ウイルスの構造と各部分の機能 (3) ウイルスの増殖 (4) ウイルスの分類 (5) バクテリオファージ	
2 感染とその防御	8	1 感染と感染症 1) 微生物感染の機構 2) 感染の成立・発症・治癒まで 3) 細菌感染の機構 4) 真菌感染の機構 5) ウイルス感染の機構 2 感染に対する生体防御機構 1) 自然免疫のしくみ 2) 獲得免疫のしくみ 3) 粘膜免疫のしくみ 3 感染源・感染経路からみた感染症 4 感染症の予防 5 感染症の検査と診断 6 感染症の治療 1) 各種の化学療法薬	

		7 薬剤耐性菌 8 院内感染症
3 おもな病原微生物	15	1 病原細菌と細菌感染症 1) グラム陽性球菌 2) グラム陰性好気性杆菌 3) 抗酸菌と放線菌類 4) 嫌気性菌 5) スピロヘータ 6) マイコプラズマ 7) リケッチア目 8) クラミジア科 2 病原真菌と真菌感染症 1) 深在性真菌症をおこす真菌 2) 深部皮膚真菌症をおこす真菌 3) 表在性真菌症をおこす真菌 3 病原原虫と原虫感染症 4 おもなウイルスとウイルス感染症 1) DNAウイルス (1) ヘルペスウイルス (2) EBウイルス (3) ヒトヘルペスウイルス 2) RNAウイルス (1) ムンプスウイルス (2) 麻疹ウイルス (3) パラインフルエンザウイルス (4) RSウイルス (5) ポリオウイルス (6) エンテロウイルス (7) 風疹ウイルス (8) 日本脳炎ウイルス (9) ウェストナイルウイルス (10) C型肝炎ウイルス (11) SARSコロナウイルス (12) ノロウイルス (13) ラッサウイルス (14) 肝炎ウイルス (15) プリオン(クロイツフェルト・ヤコブ病)
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 疾病の成り立ちと回復の促進〔4〕微生物学
参考資料		
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備考		

科目区分	専門基礎分野	授業科目	栄養学
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
目的: 人間が健康を保持・増進、回復するために必要な栄養の基礎知識を理解する。 目標: 1 健康の保持・増進に必要な栄養素の種類とはたらき、栄養の仕組みについて理解できる。 2 ライフステージに沿った栄養について理解できる。 3 健康の維持・増進、回復に必要な栄養について理解できる。 4 ヘルスプロモーションを重視した「食」の援助における看護師の役割を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 生命維持・健康保持に必要な栄養の基礎知識	10	1 栄養とは 1) 栄養の意義 2) 文化と栄養 2 医療と栄養 1) 食事療法の意義 2) 食事療法の進歩と医療制度 3) 栄養管理における看護師の役割 4) ニュートリションサポートチーム 3 栄養状態の評価 4 栄養素の種類と働き 1) 糖質 2) 脂質 3) タンパク質 4) ビタミン 5) ミネラル 6) 食物繊維 7) 水 5 栄養素の消化・吸収 1) 栄養素の消化 2) 栄養素の吸収 3) 栄養素の体内運搬 6 栄養素の体内代謝 1) 肝臓のはたらき 2) 血糖 3) 血漿脂質 4) 血漿のアミノ酸・タンパク質 5) 代謝の調節(内部環境の調節) 6) 代謝産物の排泄 7 栄養ケア・マネジメント 1) 栄養アセスメント 2) 栄養ケア計画 3) 評価	
2 健康づくりと食生活	4	1 21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)における栄養 1) 食生活の変遷と問題点 2) 食生活指針 3) 食事摂取基準 2 食の安全性と表示 (1) 食品衛生対策 (2) 食品表示	

3 ライフステージと栄養	4	1 ライフステージの各期における栄養の特徴 1) 乳幼児期 2) 学童期 3) 成人期 4) 妊娠期・授乳期 5) 更年期 6) 高齢期
4 健康障害と食事療法の実際	11	1 療養生活と栄養 1) 治療による回復を促すための食事と栄養管理 2) 栄養成分別コントロール食 3) 嚥下障害のある人のための食事 4) 経口摂取できないための人の食事 5) 疾患別食事療法の実際 (1) 循環器疾患患者の食事療法 (2) 消化器疾患患者の食事療法 (3) 栄養・代謝疾患患者の食事療法 (4) 腎臓疾患患者の食事療法 (5) 血液疾患患者の食事療法 6) 食習慣をつくる健康教育
	1	試験
評価方法	筆記試験	
テキスト	医歯薬出版 看護栄養学 第5版 女子栄養大学出版部 栄養素の通になる 第5版	
参考資料		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。	
備考		